

「矢野橋村と大阪美術学校」

矢野橋村研究者である谷岡彩氏による講演会です。御殿山で活躍した南画家・矢野橋村（1890-1965）の絵画の魅力や、橋村が校長を務めた大阪美術学校について学びます。講演に合わせて、新たに寄贈を受けた「錦楓」（第17回日本芸術院賞受賞）と「青山臨水」、大阪美術学校の写真などを1Fロビーにて展示します（予定）。（※施設利用中止が延長された場合は中止とさせていただきます。）

◎日時：2021年**3月7日**（日）

13:00～14:00

（受付開始 12:30～）

◎会場：御殿山生涯学習美術センター
2階ホール

◎参加費：無料

◎対象：大人

◎定員：先着40名

◎申込方法：2021年**2月6日**（土）10:00～
センター事務所に先着で受付（電話可）

お申し込み / お問い合わせ ☎ **050-7102-3135**

※特別警報・暴風警報発令等の気象条件、新型コロナウイルス、その他の理由により開催を延期または中止する場合があります。

※受講の際には、マスクの着用と出入口での手指の消毒をお願いします。

※開催中に記録用の写真撮影を行い、広報等に使用することがあります。予めご了承ください。

※お預かりした個人情報本講座以外の目的には使用せず、終了後速やかに廃棄いたします。

※駐車スペースには限りがあります。満車の際は駐車頂けない場合がありますので公共交通機関等をご利用ください。



講師

大阪大学大学院
日本学術振興会特別研究員
天門美術館特任研究員

谷岡 彩 氏



矢野橋村（やのきょうそん）

1890（明治23）年、愛媛県越智郡波止浜町（現在の今治市）に生まれる。17歳の時に大阪に出て大阪砲兵工廠で働くも、勤務中、左手首切断の事故に遭遇。南画家・永松春洋の門下に入り画家を目指す。1921（大正10）年に日本南画院の創設に関わり、翌年同人、評議員。1924（大正13）年、大阪の天王寺に大阪美術学校を設立し、校長として後進を指導する。1929（昭和4）年に御殿山に移転した。同校は1944（昭和19）年、陸軍に接收され、閉校。戦後、橋村は日展評議員や日本南画院会長などを歴任した。1965年（昭和40）、逝去。享年74才。



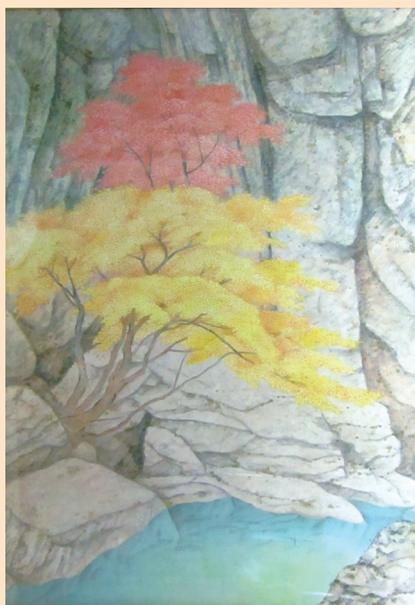
〒573-1182

枚方市御殿山町 10-16

枚方市立御殿山生涯学習美術センター
（指定管理者：枚方まなびつながりプロジェクト）

<https://www.hira-manatsuna.jp/gotenyama/>

電車：京阪御殿山駅から東へ徒歩約5分



▲「青山臨水」

◀「錦楓」

※2点とも新規寄贈作品